船越税理士法人通信

「自然のパワーを感じて」（南野）

私は先月、家族で石垣島へ旅行に行きました。初日はのんびりと過ごし、残りの日数はアクティビティや自然を満喫しました。透き通った海の中、間近でウミガメと泳ぐシュノーケリング、亜熱帯ならではの植物や生き物を観察できるマングローブカヤック、山頂から 360℃パノラマビューを体験できる野底マーペー登山。海辺でのサイクリングついでに朝日や夕日を眺め、心が癒やされる穏やかな時間を過ごしました。海、山、森、そして空と、石垣島のさまざまな自然に触れ、日常では味わえない感動をたくさん経験し、心も体もリフレッシュできた旅行でした。

寒暖の差が激しい日や、インフルエンザなども流行ってきていますので、皆様お体に気を付けてお過ごしください。





知っとこ！「税」のマメ知識

今月のマメ知識：【個人所有の資産を売却して利益が出たら？】

個人が所有する資産を売却して利益が出た場合、原則として「譲渡所得」の対象となります。ただし、家具や衣服、通勤用の自動車など「生活に通常必要な動産」の売却による所得は非課税です。一方、生活用であっても 1 個または 1 組の価額が 30 万円を超える貴金属や書画・骨とう品などの売却益は課税対象となります。さらにゴルフ会員権など趣味や娯楽目的の「生活に通常必要でない資産」の売却益も同様に課税されます。総合課税の譲渡所得は、原則として「譲渡価額－（取得費＋譲渡費用）－特別控除額（最高 50 万円）」で計算します。所有期間が 5 年を超える資産は長期譲渡所得となり、課税対象はその 2 分の 1 となります。短期・長期の両方の譲渡益がある場合、特別控除はまず短期から差し引きます。なお土地や建物などの不動産の譲渡は分離課税となり計算が異なります。また資産の売却で損失が生じても、原則として給与所得など他の所得との損益通算はできないのでご注意ください。



世界の偉人伝

今月の偉人：【ショーペンハウアー】

アルトゥール・ショーペンハウアーは 19 世紀のドイツの哲学者です。裕福な商人の家庭に生まれ、商業教育を受けますが父の死後、ベルリン大学で哲学研究を開始しました。西欧哲学を研究した後、インド哲学を学び、東洋思想を取り入れました。世界の本質は「盲目的な意志」と捉える悲観主義を提唱し、ニーチェやワーグナーに影響を与えました。「幸福は蜃気楼である」で始まる人生論『幸福について』では煩悩からの解脱を説いています。内面の富や精神性を重要視した人だったのです。

気軽に Let's 英会話

今月のキーワード：【a whale of a】

映画『ゴジラ-0.0』が 11 月 3 日に公開されます。ゴジラは“Godzilla”とつづり、発音は「ズィ」に強勢をおき「ガッズィラ」といいます。『ゴジラ』は「ゴリラ」と「クジラ」を合体して付けられた名前だとか。「ゴリラ」は英語でも“gorilla”ですが（「リ」に強勢）、「クジラ」は“whale”（ウェィル）です。これを使った慣用句に“a whale of a”「途方もなく大きな〇〇・素晴らしい〇〇」があり、“We had a whale of a time!”は「私たちは最高に楽しい時間を過ごしました！」の意味です。

トピックを探る

今月のトピック：【猫の印鑑「ねこずかん」】



「ねこずかん」は猫のデザインに名前を入れられるオーダーメイドの印鑑です。倒産寸前だった大阪の印鑑メーカーを救ったねこずかんは2016 年に登場、その後のシリーズは犬や花鳥、キャラクターやアニメとのコラボで 60 種類以上を展開し販売数は 17 万本に及びます。伝統的な風習と職人芸が大ヒット商品に開花した、胸熱の好例です。

才人の言葉

傷ついたのは生きたからである

昭和史の資料ともいえる『高見順日記』で知られる作家・高見順の言葉。年を重ねたのも、心や体が傷ついたのも、あなたが今日まで無事に生きてこれたからである。

知って得する知恵袋

ファスナーが固くて噛んでしまったときは、Ｂや２Ｂなどの柔らかい鉛筆の芯をジッパーの務歯（金属のギザギザ）にこすりつけます。鉛筆の黒鉛は固形潤滑剤として働くため、油のようにホコリを吸着して固まる心配もなく、滑らかに動くようになります。

振り向けばあそこにもここにも「商売のヒント」

今月の商売のヒント：【「売り上げ」より優先したもの】

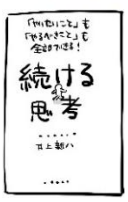
丸亀製麺はこの夏、一部の店舗を除く全国の店舗を休業しました。その理由は売り上げ不振などではなく、従業員が家族や大切な人と過ごすための「丸亀ファミリーホリデー」。昨年に続く取り組みです。飲食店にとって1日店を閉めるのは小さな決断ではありません。これまでは「お客さま第一」を考えれば、できるだけ店を開けることが大切だと考えられてきました。しかし人手不足が続く今、お客さまだけでなく働く人にも目を向けた経営が求められています。丸亀製麺が掲げたのは、従業員の心身のリフレッシュに加え、家族や大切な人と過ごす時間を作ること。そのため単に休暇の取得を促すのではなく、店そのものを休業しました。忙しい現場では「休んでください」と言われてもなかなか休みづらいものです。ならば会社側が全員で休める環境をつくる。制度だけでなく、仕組みで休みを実現したわけです。運営するトリドールグループは、従業員の幸福感を重視する「心的資本経営」を掲げています。1 日の休業は売り上げだけを見ればマイナスでも、人



材の定着や採用、企業への信頼まで含めれば見え方はまったく変わります。さらに興味深いのは、この休業が単なる福利厚生ではなく企業からのメッセージにもなっていることです。「従業員を大切にします」と言葉で掲げる企業は少なくありませんが、実際に店を閉めるとなれば話は別です。働く人を大切にする姿勢を「1 日の休業」という目に見える形で示す。そこには売り上げだけでは測れない企業の信頼づくりがあります。休むことはコストではなく、企業の姿勢を伝える投資にもなり得る時代ですね。

トナリの本棚

【続ける思考】



ブックデザイナーとして有名な井上新八の著書。習慣化を豊富なエピソードで紹介しています。できるサイズで小さく積み重ねる仕組みを学べる一冊です。

船越税理士法人
〒620-0054
京都府福知山市末広町 1-1-1　中川ビル 3 階
TEL：0773-22-3708　FAX：0773-22-7343
http://www.f-office301.com
E-mail：info@f-office301.com
皆様のご感想をお待ちしております☺☺☺☺☺☺